

鹿児島県

届出事業所からの「水域への水生生物に対する毒性重み付け排出量」が全国500位以内の市区町村と
主原因3物質（平成28年度）

県内 順位	市区町 村名	各市区町村での主原因3物質名と毒性重み付け届出排出量(10 ⁶ L/年)			
		全物質合計	1位物質	2位物質	3位物質
1	奄美市	13,346,120	EPN 13,200,000	無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸塩を除く。) 100,000	1,1,1-トリクロロエタン 18,880
2	薩摩川内市	4,905,974	EPN 4,441,800	2,2-ジブromo-2-シアノアセトアミド 141,100	ポリ塩化ビフェニル類 (PCB) 114,000
3	大島郡徳之島町	1,331,080	EPN 1,254,000	ポリ塩化ビフェニル類 (PCB) 38,000	チウラムまたはチラム 25,300
4	志布志市	413,787	EPN 402,600	マンガン及びその化合物 11,180	ほう素化合物 7
5	鹿児島市	305,440	マンガン及びその化合物 275,600	亜鉛の水溶性化合物 11,748	ふっ化水素及びその水溶性塩 9,490
6	南九州市	185,425	EPN 178,200	チウラムまたはチラム 4,600	無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸塩を除く。) 675